

# 日本評価学会第13回全国大会日程 「評価学の確立に向けて」

2012年12月1日（土）

10:00 - 10:30	受 付		
午前の部 10:30 - 12:00	自由論題1 政策評価 (山谷 清志) 第3講義室	自由論題2 組織評価／評価文化 (渡辺 博) 第5講義室	自由論題3 教育評価 (源 由理子) 第4講義室
12:00 - 13:15	お昼休み (理事会 12:05 - 13:00)		
午後の部 I 13:15 - 15:15	共通論題1 政府における政策評価の現状 (小島 卓弥) 第3講義室	共通論題4 地方議会と行政評価 (窪田 好男) 第5講義室	自由論題4 国際協力・ODA (和田 義郎) 第4講義室
午後の部 II 15:30 - 17:30	シンポジウム 政策評価は政策終了を導くか？ (山谷 清志) 第3講義室		
17:40 - 18:30	総 会 (臨時理事会) 第3講義室		
18:45 - 20:00	懇親会		

2012年12月2日（日）

9:30 - 10:00	受 付		
午前の部 10:00 - 12:00	共通論題2 大学評価とグローバル化 ～公共政策大学・大学院に おける質保証の展望～ (杉岡 秀紀) 第3講義室	共通論題5 非営利組織における評価の現 状～広義および狭義のNPOに対 する評価活動の実践等から～ (平尾 剛之) 第5講義室	R T D 評価書から見えるもの ～政府の政策評価、自治体の 行政評価の課題とこれから～ (小島 卓弥) 第4講義室
12:00 - 13:15	お昼休み (編集委員会 12:05 - 13:00)		
午後の部 I 13:15 - 15:15	共通論題3 プログラム評価 ～日本の現 状と今後の可能性～ (田辺 智子) 第3講義室	共通論題6 社会的インパクトの定量評価 (SROI) (佐々木 亮) 第5講義室	自由論題5 自治体評価 (窪田 好男) 第4講義室

( )は座長です。

自由論題報告の時間は原則として、発表20分、質疑8分、交替2分（計30分）です。

### 【大会参加費】

学会員（正、学、賛）	2,000円
准会員	3,000円
非会員学生	3,000円
非会員一般	4,000円
懇親会	3,000円

発表会場： 第3講義室～第5講義室  
総会／シンポジウム：第3講義室

大会本部： 第6講義室  
理事会／委員会： 2階第一会議室  
懇親会： 学生食堂

**日本評価学会第13回全国大会「評価学の確立に向けて」  
プログラム詳細**

**12月1日（土） 午前の部 10：30-12：00**

<b>自由論題1 政策評価</b>				<b>第3講義室</b>
		<b>座長 山谷 清志</b>	<b>同志社大学</b>	
J1-1	国会と独立機関によるパラレル型・独立の政策評価		上野 宏	(一財)国際開発センター
J1-2	政策手段の評価理論		橋本 圭多	同志社大学
J1-3	政策評価制度の変遷～「政策評価」から「政策終了」へ～		永井 隆夫	同志社大学
<b>自由論題2 組織評価／評価文化</b>				<b>第5講義室</b>
		<b>座長 渡辺 博</b>	<b>ユニコインターナショナル(株)</b>	
J2-1	建築物の地球温暖化対策の評価と制度		中田 雅陽	法政大学
J2-2	企業の裁量行動に関する実証分析 ～日本の規制産業を中心に～		竹内 徹也	横浜国立大学
J2-3	企業の地球温暖化対策に伴う経済効果の評価に関する一考察		加藤 郁夫	(株)国際開発センター
<b>自由論題3 教育評価</b>				<b>第4講義室</b>
		<b>座長 源 由理子</b>	<b>明治大学</b>	
J3-1	高等学校の学校評価～広島県立忠海高校の事例～		高月 淳	広島県立忠海高等学校
J3-2	「評価」をめぐる「教師」という記憶～日本語学習者との語り合いから～		工藤 育子	国立国語研究所
J3-3	効果的な研修評価のデザインに関する試論的考察（2）：4レベルアプローチに基づく「行動変容」の評価		米原 あき	明治大学

**12月1日（土） お昼休み 12：00-13：15 （12：05-13：00 理事会）**

**12月1日（土） 午後の部Ⅰ 13：15-15：15**

<b>共通論題1 政府における政策評価の現状</b>				<b>第3講義室</b>
		<b>座長 小島 卓弥</b>	<b>総務省</b>	
		<b>コメンテータ 南島 和久</b>	<b>神戸学院大学</b>	
K1-1	政策評価制度の最近の動向～目標管理型の政策評価の改善方策を中心に～		柴沼 雄一朗	総務省
K1-2	事前評価の現状 ～公共事業評価を中心に～		谷道 正太郎	総務省
K1-3	府省の政策評価の実際～文科省の実態を通して見た政策評価制度の論点～		田中 啓	静岡文化芸術大学
<b>共通論題4 地方議会と行政評価</b>				<b>第5講義室</b>
		<b>座長・司会・コメンテータ 窪田 好男</b>	<b>京都府立大学</b>	
K4-1	生駒市議会 事業評価の取り組み		塩見 牧子	生駒市議会議員
K4-2	亀岡市議会における事務事業評価の取り組み		酒井 安紀子	亀岡市議会議員
K4-3	事業仕分けの手法を用いて、市民主体でまちづくりを考える 市民団体「市政まるごとしわけ隊！」活動報告		林 定信	市政まるごとしわけ隊！
<b>自由論題4 国際協力・ODA</b>				<b>第4講義室</b>
		<b>座長 和田 義郎</b>	<b>国際協力機構</b>	
J4-1	JICA技術協力におけるクラスターランダム化比較試験実施上の論点：セネガル「みんなの学校」プロジェクトからの教訓	○	青柳 恵太郎	国際協力機構
			西野 宏	国際協力機構
			梅宮 直樹	国際協力機構
J4-2	スウェーデンのODA評価システム～対ベトナム法整備支援を事例として～		砂原 美佳	名古屋大学
J4-3	社会事業のインパクト評価におけるフィールド経済実験の活用：バンラデシュ農村部におけるソーシャルキャピタル計測実験の事例	○	神谷 祐介	大阪大学
			青柳 恵太郎	国際協力機構

**12月1日（土） 午後の部Ⅱ 15：30-17：30**

<b>シンポジウム 政策評価は政策終了を導くか？</b>				<b>第3講義室</b>
		<b>座長 山谷 清志</b>	<b>同志社大学</b>	
		<b>司会 石橋 章市朗</b>	<b>関西大学</b>	
		<b>コメンテータ 佐野 亙</b>	<b>京都大学</b>	
	我が国における政策終了研究の現状と今後の課題		岡本 哲和	関西大学
	評価の尺度と基準共有の重要性～京都府向日町競輪事業廃止の政治過程に見る評価と政策終了～		窪田 好男	京都府立大学
	政策終了と政策評価制度		山谷 清志	同志社大学

**12月1日（土） 総会（臨時理事会） 17：40-18：30**

**12月1日（土） 懇親会 18：45-20：00**

12月2日（日） 午前の部 10：00-12：00

<b>共通論題2 大学評価とグローバル化日公共政策大学・大学院における質保証の展望～</b>				<b>第3講義室</b>
		<b>座長 杉岡 秀紀</b>	<b>京都府立大学</b>	
		<b>コメンテータ 早田 幸政</b>	<b>大阪大学</b>	
K2-1	わが国における公共系専門職大学院の評価の課題		田中 一昭	公益財団法人大学基準協会
K2-2	「地域公共政策士」育成教育プログラムの社会的認証		富野 暉一郎	龍谷大学
K2-3	大学評価の国際化と非大学型組織の評価システムとの接続可能性		斎藤 貴浩	大阪大学
<b>共通論題5 非営利組織における評価の現状～広義および狭義のNPOに対する評価活動の実践等から～</b>				<b>第5講義室</b>
		<b>座長 平尾 剛之</b>	<b>(一財)社会的認証開発推進機構</b>	
K5-1	福祉サービスの第三者評価事業の取組みについて		秋元 正保	京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構
K5-2	実践的評価研究としての「エクセレントNPO」の取組		田中 弥生	大学評価・学位授与機構
K5-3	全国初の先進事例研究～社会的認証システムの取組み～		平尾 剛之	(一財)社会的認証開発推進機構
<b>RTD 評価書から見えるもの～政府の政策評価、自治体の行政評価の課題とこれから～</b>				<b>第4講義室</b>
		<b>座長 小島 卓弥</b>	<b>総務省</b>	
RTD-1	自治体の行政評価に関して		佐藤 徹	高崎経済大学
RTD-2	自治体の行政評価に関して		橘 清司	福井県
RTD-3	自治体の行政評価に関して		西出 順郎	岩手県立大学
RTD-4	政府の政策評価に関して		南島 和久	神戸学院大学
RTD-5	政府の政策評価に関して		新井 誠一	総務省行政評価局

12月2日（日） お昼休み 12：00-13：15 (12:05～13:00 編集委員会)

12月2日（日） 午後の部 13：15-15：15

<b>共通論題3 プログラム評価 ～日本の現状と今後の可能性～</b>				<b>第3講義室</b>
		<b>座長 田辺 智子</b>	<b>国立国会図書館</b>	
		<b>コメンテータ 小野 達也</b>	<b>鳥取大学</b>	
K3-1	国の機関の総合評価の現状と課題～期待と現実のギャップ～		田中 啓	静岡文化芸術大学
K3-2	セオリー評価実施における留意点～最近のテキストから学ぶ～		田辺 智子	国立国会図書館
K3-3	インパクト評価を用いた効果的プログラムモデル形成アプローチを日本社会に根付かせるための条件と課題		大島 巖	日本社会事業大学
<b>共通論題6 社会的インパクトの定量評価(SROI)</b>				<b>第5講義室</b>
		<b>座長 佐々木 亮</b>	<b>(株)国際開発センター／立教大学</b>	
		<b>コメンテータ 幸田 博光</b>	<b>(株)国際開発センター</b>	
K6-1	欧州を含めたグローバルでのSROI適用、Social Impact Bill等の政策面での動きについて		伊藤 健	慶応大学
K6-2	ソーシャルイノベーションを加速するSROI		山口 高弘	(株)野村総合研究所
K6-3	開発援助分野での費用便益分析の比較分析によるSROIフレームワークへの示唆		佐々木 亮	(株)国際開発センター／立教大学
<b>自由論題5 自治体評価</b>				<b>第4講義室</b>
		<b>座長 窪田 好男</b>	<b>京都府立大学</b>	
J5-1	地方議員の活動評価の試行		本田 正美	東京大学
J5-2	自治体の行政評価に参加して		古谷 順子	グローバルリンクマネージメント (株)
J5-3	別府市にみる観光評価の指標とその可能性		堀 桂子	観光開発プランナー
J5-4	ステークホルダー別セオリー評価の可能性と課題～大分県の留学生受け入れによる地域活性化の取組みを事例として～		佐藤 由利子	東京工業大学